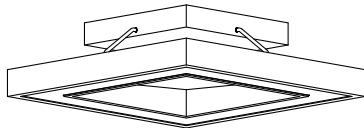


取扱説明書

保管用
施工説明付き



(LEDシーリング)

※対象品番は仕様欄をご参照ください。

お客様へ

このたびは、大光電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
本説明書は大切に保管してください。

●安全上のご注意

必ずお守りください。

●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明します。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

△ 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容です。」

△ 注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容です。」

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。
(下図は図記号の一例です。)



実行しなければならない内容です。



してはいけない内容です。

△ 警告

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。



●周囲温度-5~35°C以外では使用しない

火災の原因となります。



●器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わない

火災・感電・落下の原因となります。



●器具の真下にストーブ等の温度の高くなるものを置かない

火災の原因となります。



●器具の改造、部品の変更は行わない

火災・感電・落下等の原因となります。

△ 注意

●照明器具には寿命があります。

設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。

※使用条件は周囲温度30°C、1日5.5時間点灯、年間2000時間点灯。

周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。

点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。



●お手入れの際は電源を切る

通電状態で行うと感電の原因となります。



●LEDを直視しない

目に悪影響を及ぼすおそれがあります。



●点灯中や消灯直後は器具にさわらない

やけどの原因となります。

施工説明

工事店様へ

施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
本説明書は必ずお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

必ずお守りください。

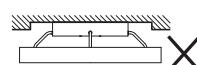
⚠ 警告

●取付面

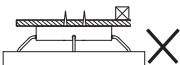
●指定場所以外には取付けない

火災・落下の原因となります。

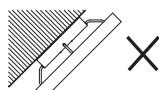
※この器具は天井取付専用(簡易取付式)です。



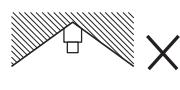
突出部のある天井
凹凸のある天井
掘込天井



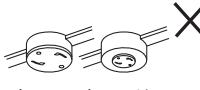
取付強度不足の天井
補強のない場所
(ベニヤ板や石膏ボード等)



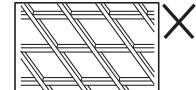
傾斜した場所



船底天井



ケースウェイに
取付いているもの



サオブチ・格子天井



厳守

●取付面の強度を確保する

取付面が強度不足の場合、落下の原因となります。

●付属の木ネジで確実に取付ける

取付部、補強材へのねじ込み寸法が20mm以下の場合、落下の原因となります。

既に使用されたネジ穴の再利用はしないでください。
落下の原因となります。



●湿気の多い場所や屋外では使用しない

火災・感電の原因となります。

※この器具は非防水です。



禁止

●ガス機器等の温度の高くなるものの上に取付けない

火災の原因となります。

●壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災の原因となります。

※調光器の取外しが必要です。



厳守



禁止

●取付面が充分乾燥してから器具を取付ける

乾燥が不充分な場合、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。

●配線器具

●配線器具は充分な強度で取付けされていることを必ず確認する

火災・感電・落下の原因となります。

●下記のような配線器具には器具を取付けない

火災・感電・落下の原因となります。

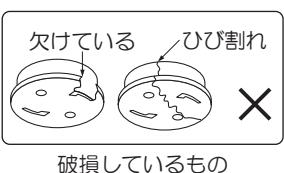
※配線器具の交換が必要です。



厳守



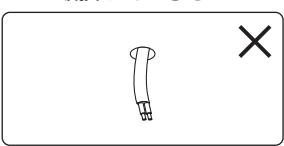
電源端子露出型引掛けシーリング



欠けている
ひび割れ
破損しているもの



ぐらつくもの



配線だけのもの

●その他

●取付けは器具本体表示または本説明書に従って確実に行う

取付けに不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災・感電の原因となります。

●引掛けシーリングプラグは配線器具に確実に取付ける

落下・不点の原因となります。

⚠ 注意



禁止

●取付面が充分乾燥してから器具を取付ける

乾燥が不充分な場合、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。

●取付け前の注意事項について

●天井に取付けられている配線器具を確認してください。

●右記以外の配線器具や、配線器具が設置されていない場合は取付けできません。

※配線器具の交換・取付けには資格が必要です。工事店またはお買い上げの販売店に依頼してください。

＜使用できるもの(配線器具)＞



引掛シーリング
(角・丸形)



ツバ付丸形
引掛シーリング



引掛埋込
ローゼット
(耳付き)



ツバ付引掛
ローゼット
(耳付き)

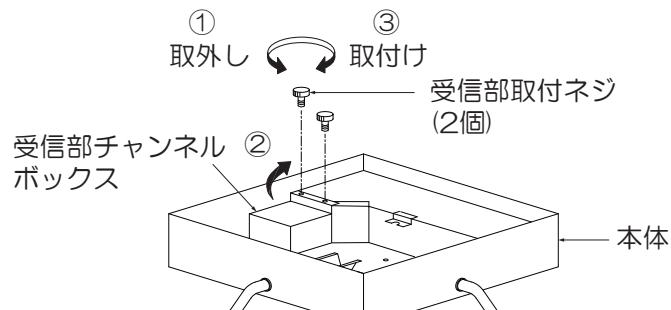
●リモコンのチャンネルを確認する

[受信部のチャンネル選択スイッチを確認する]

●リモコンのチャンネルを設定する場合は、次の手順でチャンネル選択スイッチを設定してください。

①②受信部取付ネジ(2個)を本体より取外し、受信部チャンネルボックスを、本体より取り出してリモコンのチャンネル選択スイッチの設定をしてください。

③チャンネル選択スイッチの設定後、受信部取付ネジ(2個)で締め付け固定してください。



※照明器具2台を別々にリモコン操作したい場合は、右表のようにスイッチを合わせてください。

※受信部とリモコンのチャンネルが違うと操作ができません。(出荷時の設定は、受信部とリモコンのチャンネルは1です。)

※詳細はリモコンの「取扱説明書」をご覧ください。

器具選択スイッチ	1台目	2台目
受信部側	1CH	2CH
リモコン側	1CH	2CH

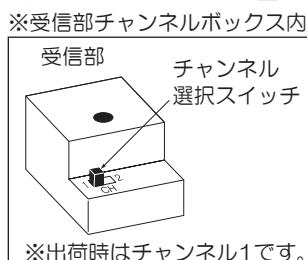
●各部のなまえと取付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください。

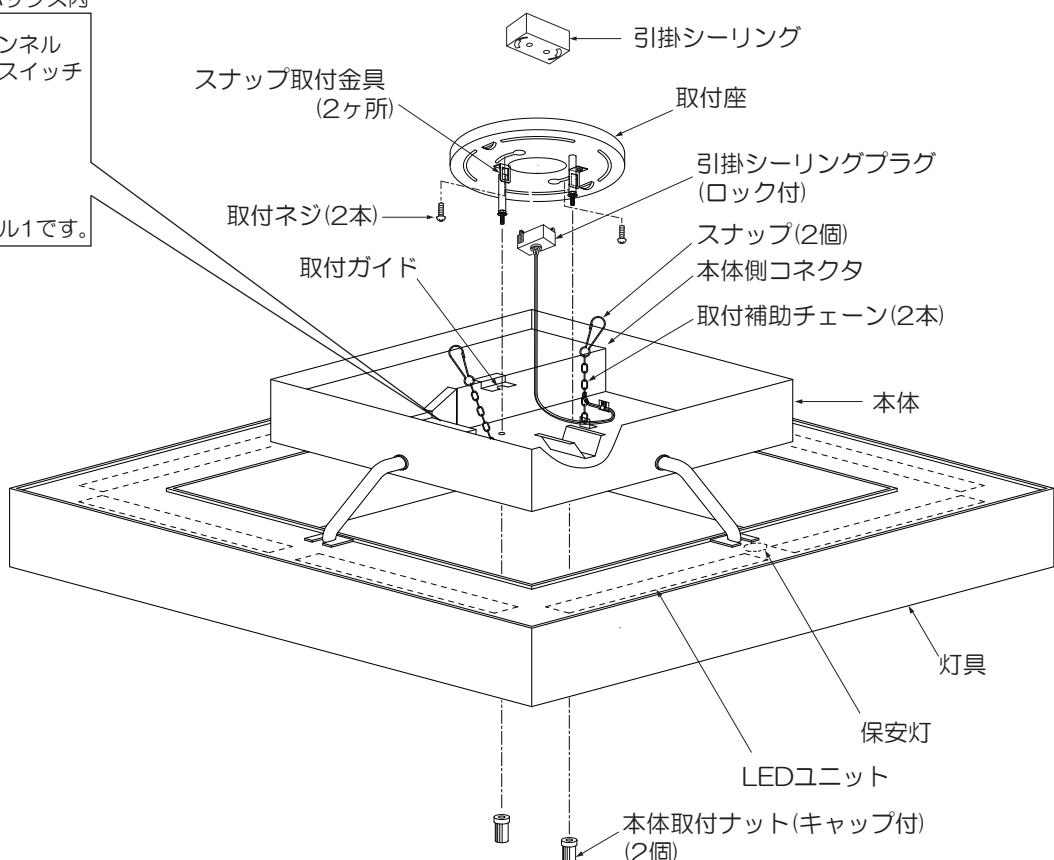
取付け前の準備

- 本体取付ナット(2個)を取り外し、本体から取付座を取り外す。
- 引掛シーリングプラグを左に回し、引掛シーリングを取り外す。

※下図は、簡略した図です。



付属品	取付けする前にまず付属品をご確認ください
□引掛シーリング(木ネジ付)	
□木ネジ座付2本	
□取付ネジ(2本)	
＜リモコン式＞	
□リモコン送信機	
□単4乾電池(2本)	
□送信機ホルダー	
□木ネジ(2本)	

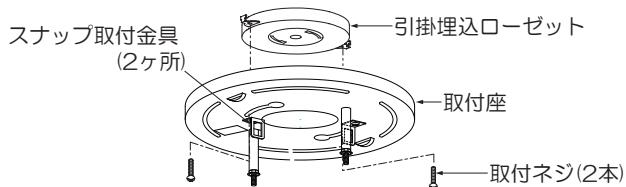


1 取付座を取付ける

- 取付座を木ネジ(2本)で確実に取り付ける。

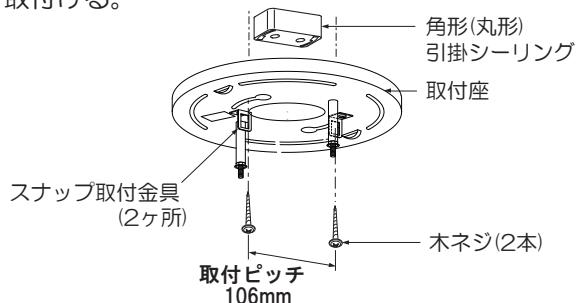
<引掛埋込ローゼットの場合>

- 取付座の方向シールの表示に従って取付ける。
- 取付座を引掛けローゼットに取付ネジ(2本)で取付ける。



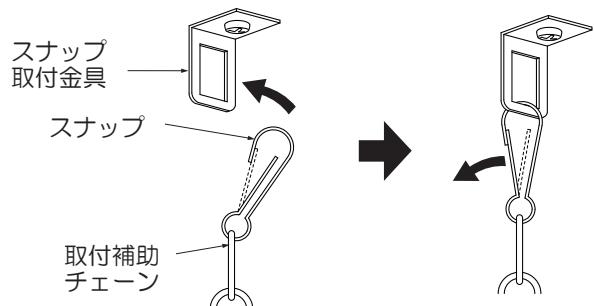
<角型(丸形)引掛シーリングの場合>

- 取付座を木ネジ(2本)で天井面の補強材のある位置に取付ける。



2 取付補助チェーンを取付ける

- 取付補助チェーン先端のスナップ(2個)を取付座のスナップ取付金具(2ヶ所)に取付ける。

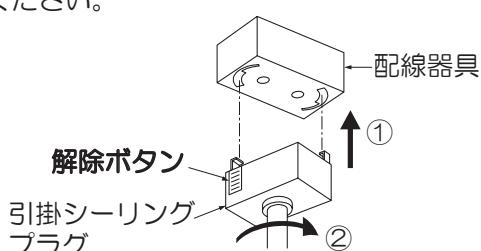


※必ずスナップは、2ヶ所共取付けてください

3 引掛シーリングプラグを取付ける

- 引掛けシーリングプラグを配線器具に差し込み、右に回す。

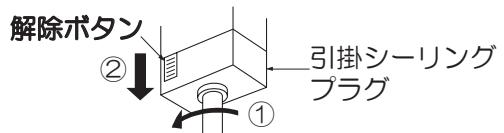
※解除ボタンを押さずに左右に力を加え、動かないことを確認してください。



引掛けシーリングプラグを取り外す場合は、解除ボタンを押しながら左に回して取外す。

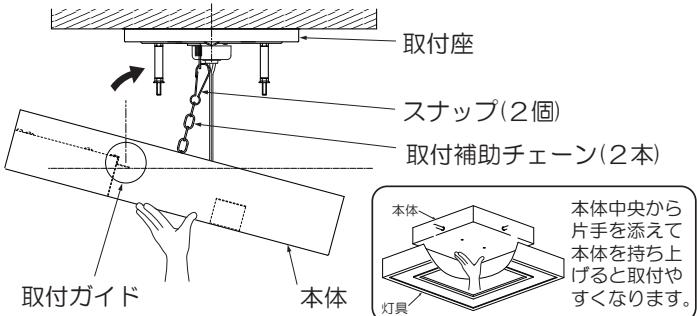
<引掛けシーリングプラグを取り外す場合>

- 解除ボタンを押しながら左に回して取外してください。

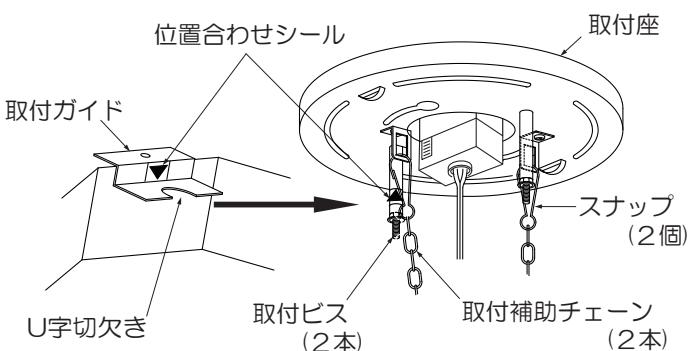


4 本体を取付ける

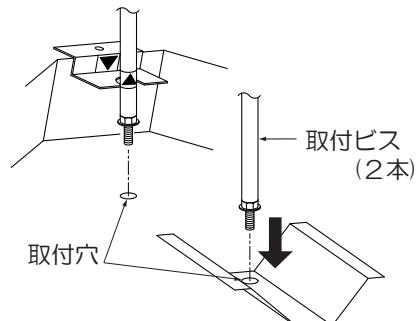
- 位置合わせシールに従って、取付ガイドのU字切欠き部分に取付座の取付ビスを合わせる。



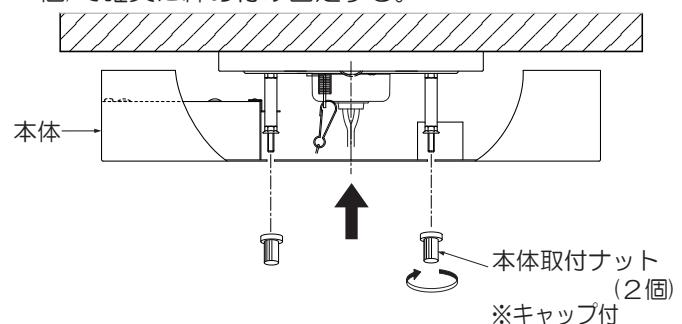
※灯具を持って取付ると変形する恐れがありますので、必ず本体を持って取り付けてください。



- 本体を持ち上げながら、もう片方の取付ビスを取付穴に合わせる。



- 本体を押し上げ取付座にセットし、本体取付ナット(2個)で確実に締め付け固定する。



●ご使用方法

●点灯の切り替えは、同梱のリモコンまたは壁スイッチで操作してください。

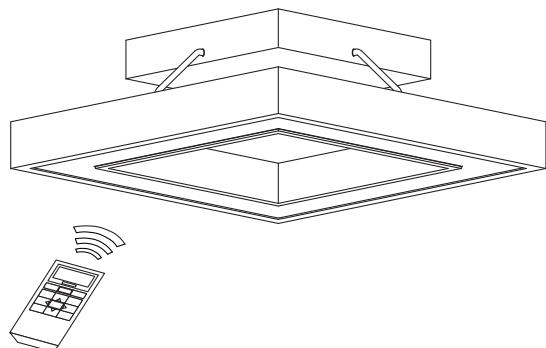
※器具出荷時(初期設定)は、全灯で明るさは10段階内の5段階、光色は11段階内の6段階の設定です。

＜リモコンで操作する場合＞

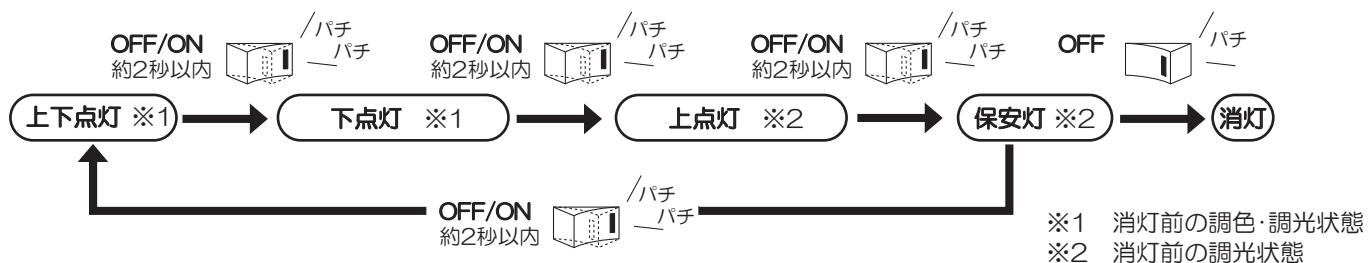
●光の色は11段階、明るさは10段階の調節が可能です。

※詳細はリモコンの「取扱説明書」をご覧ください。

※壁スイッチがOFFの場合は、点灯の切り替えはできません。



＜壁スイッチで操作する場合＞



※壁スイッチをOFFにしてから約3秒以上経過した後、再度ONにすると消灯前の状態に戻ります。

●ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません。

【器具自体の留意点】

- LEDはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさ、点灯時間(始動時間)が異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は電源を切り、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取替えはできません。
- 調光範囲は約5%～100%ですが、室温によって多少変化します。また調光状態になるまで数秒かかることがあります。
- 長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。壁スイッチがONの状態で停電がおこった場合、停電復帰後、自動的に点灯する場合があります。
- 点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生することがあります、異常ではありません。

【周囲の影響】

器具の近くで使用すると以下の現象がまれにあります。

- ラジオやテレビ等の音響・映像機器への雑音。
- リモコン機器(エアコン等)のリモコンが動作しにくくなる。
- トランシーバーやラジコンのコントローラ等の無線機により器具が点滅する。

●点検とお手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください。

- 明るく安全に使用するために6ヶ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。
 - ・LEDが切れていませんか。
 - ・正常に点灯しますか。
 - ・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
 - ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
 - ・カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。
- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
※シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。
- 木材、紙、布等の場合は水拭きせずに、柔らかい布またはハタキ等で、こまめにホコリを落としてください。

●仕様

品番は器具のラベルをご参照ください。

品番	定格電圧	周波数	消費電力 ※待機時 1W以下を 要します。	入力電流	LED	本体/灯具
DCL-41382	交流 100V	50/60 Hz共用	58W	0.59A	上点灯(間接光) 電球色(2700K) 下点灯(直接光) 電球色(2700K) ～昼白色(5000K)	白塗装 カジュアルオーク色
DCL-41383						黒塗装 ウォールナット色

- LED光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
- 異常温度防止機能付です。

●保証について

- この商品の保証期間は3年です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

※保証期間の例外

24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

- 保証書について

保証書が必要な場合は、弊社「CSセンター」までお申し出ください。

- 補修用性能部品の保有期間

弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品を維持するために必要な部品です。

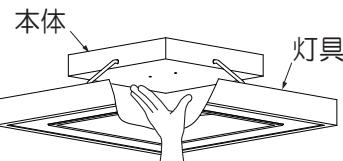
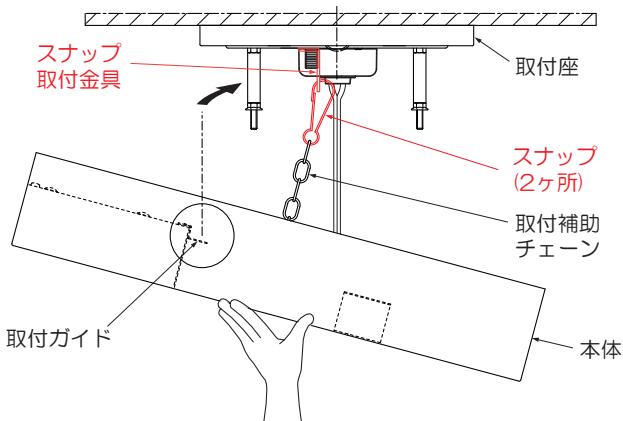
●商品についてのご相談

CSセンター(0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通)へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

注意！ 本体の取付方法

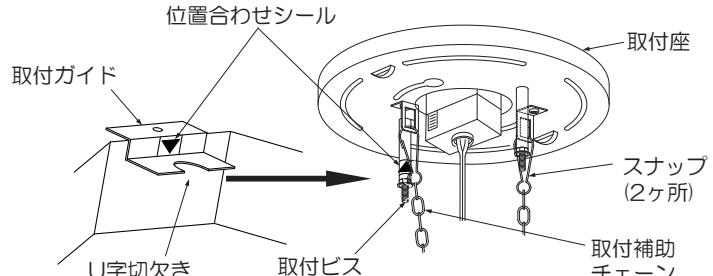
必ず取付補助チェーン先端のスナップ2ヶ所をスナップ取付金具(2ヶ所)に取付けてから本体取付作業をしてください。



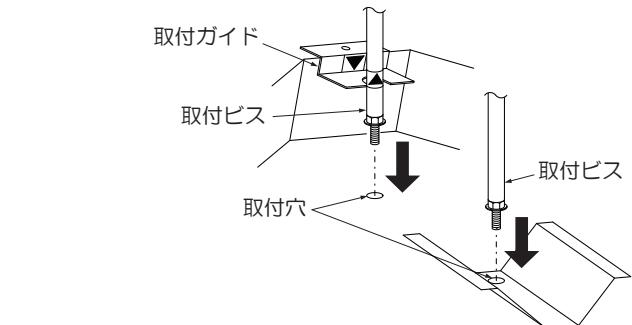
本体中央から片手を添えて本体を持ち上げると取付やすくなります。

※灯具を持って取付ると変形する恐れがありますので、必ず本体を持って取り付けてください。

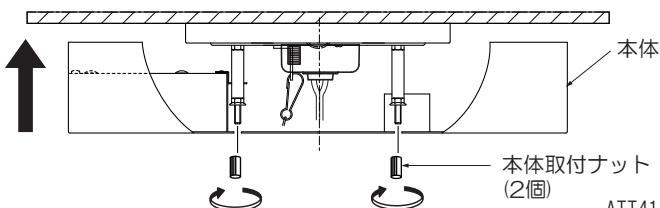
- 位置合わせシールに従い、取付ガイドのU字欠き部分を取付ビスに合わせる。



- 本体を持ち上げながら、取付ビスを取付穴に合わせる。



- 本体を押し上げ、本体取付ナット(2個)で確実に締め付けてください。

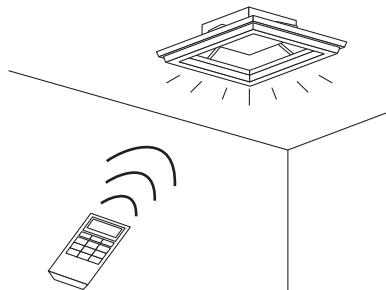


■ 送信のしかた

必ずリモコンを器具に向けて操作してください。

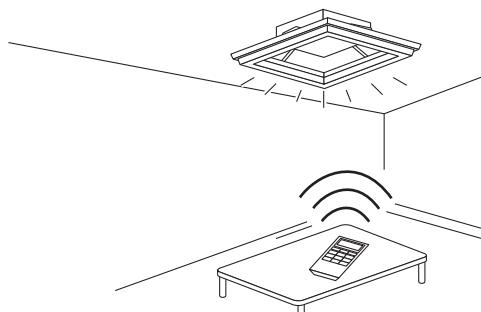
●通常の点灯・消灯の場合

リモコンを器具に向けて操作してください。

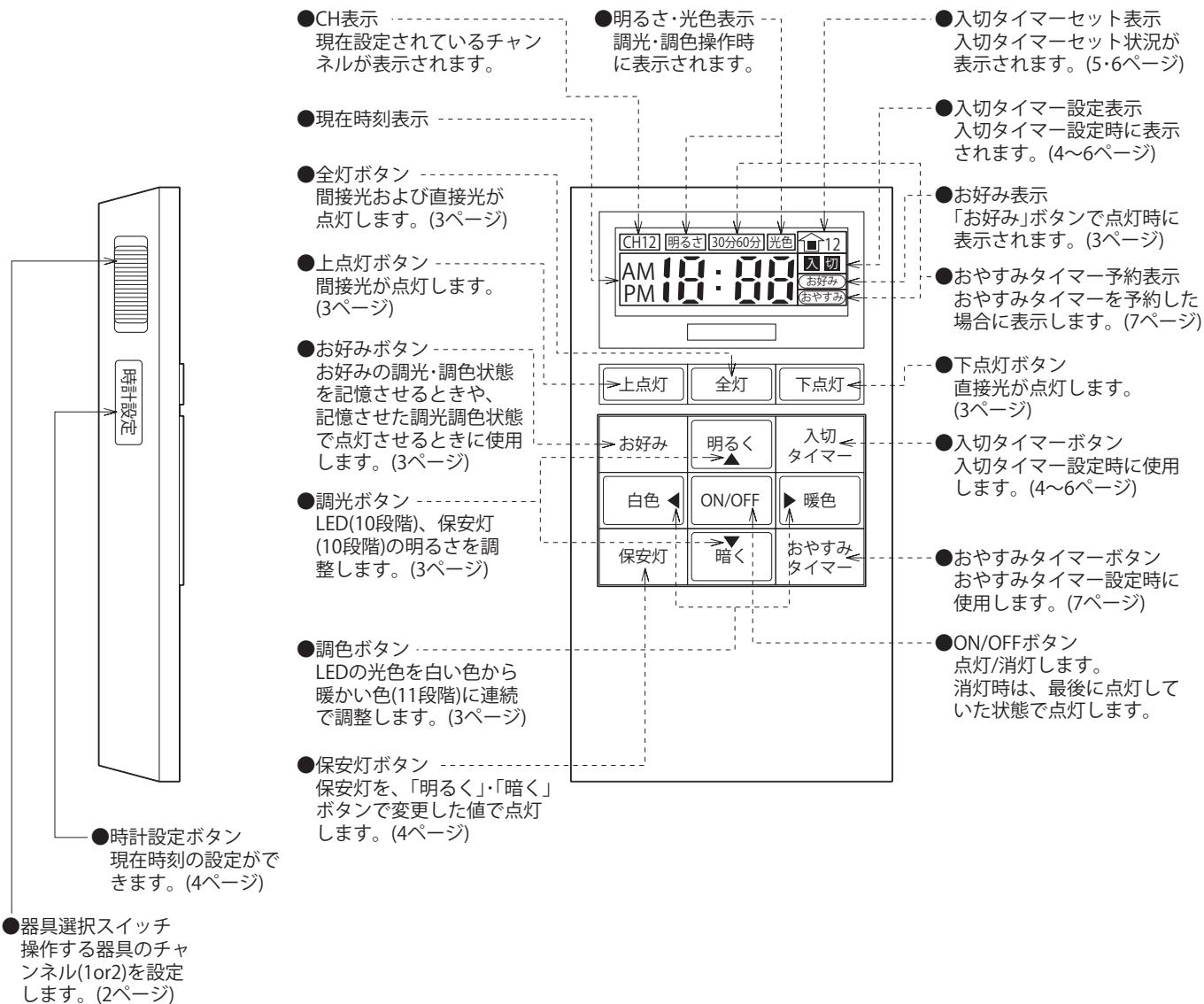


●「入切タイマー」・「おやすみタイマー」を使用する場合

使用する状態で点灯・消灯することを確認してください。

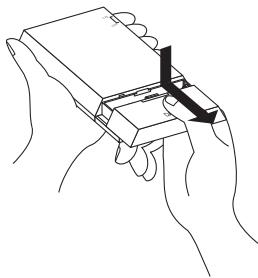


■ 各部の名称

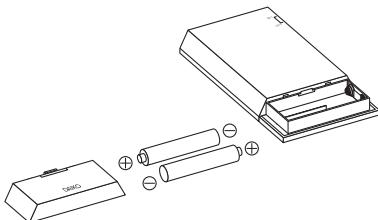


■ 電池交換方法

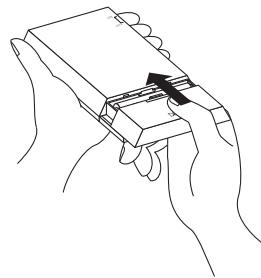
1. 裏面のフタを軽く押さえながら手前に引く。



2. 電池(単四2個)を正しく図のように入れる。



3. カチッと音がするまでフタを押し込む。



●同梱の電池は、照明器具本体を取り付けた際の動作確認用電池です。

●リモコン操作できる距離が短くなってきたら、新しい電池に交換してください。

●電池の誤った使い方をしますと「液もれ」や「破裂」する危険がありますので次のことにご注意ください。

(1)電池のプラス+とマイナス-の向きを正しく入れてください。

(2)新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

(3)電池には同じ形状でも特性の異なるものがありますので、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

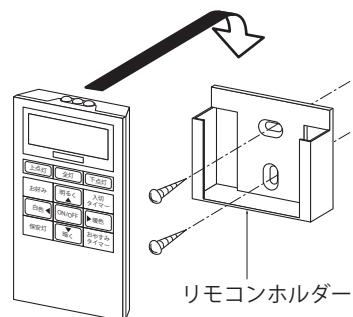
(4)電池を加熱、分解、ショートしたり、火の中に投入しないでください。

(5)長時間ご使用にならない時は、電池の「液もれ」が原因で故障になる場合がありますので、電池を取り出してください。

■ 取付方法

●リモコン送信器をなくさないように、同梱されているリモコンホルダーは付属の木ネジで確実に固定してください。

※但し、リモコンホルダーにリモコン送信器を入れたまま、壁スイッチ代わりとしてご使用になる場合は、固定する前にその取付位置で照明器具が動作することを必ず確認してから、リモコンホルダーを壁面の補強材のある位置に固定してください。



■ チャンネル設定

●器具選択スイッチ…1つの送信器で2台の照明器具を操作する場合

受信器のチャンネルに合わせてスイッチを切り替えることで、1つの送信器で2台の照明器具を操作することができます。

<1台の器具のみ操作する場合>

送信器の器具選択スイッチと照明器具の受信器のチャンネル設定スイッチが「CH1」に設定されていることを確認してください。

<2台の器具のみ操作する場合>

送信器の器具選択スイッチと2台目の照明器具の受信器のチャンネル設定スイッチを「CH2」に設定してください。

(注意)

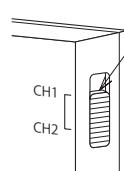
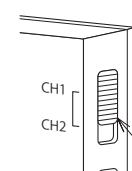
送信器側と照明器具側のチャンネルが異なる場合は動作しません。
出荷時は送信器、受信器ともにチャンネルは「CH1」になっています。

[送信器]

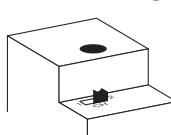
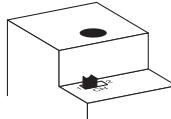
[送信器]

[受信器]

[2台目の受信器]



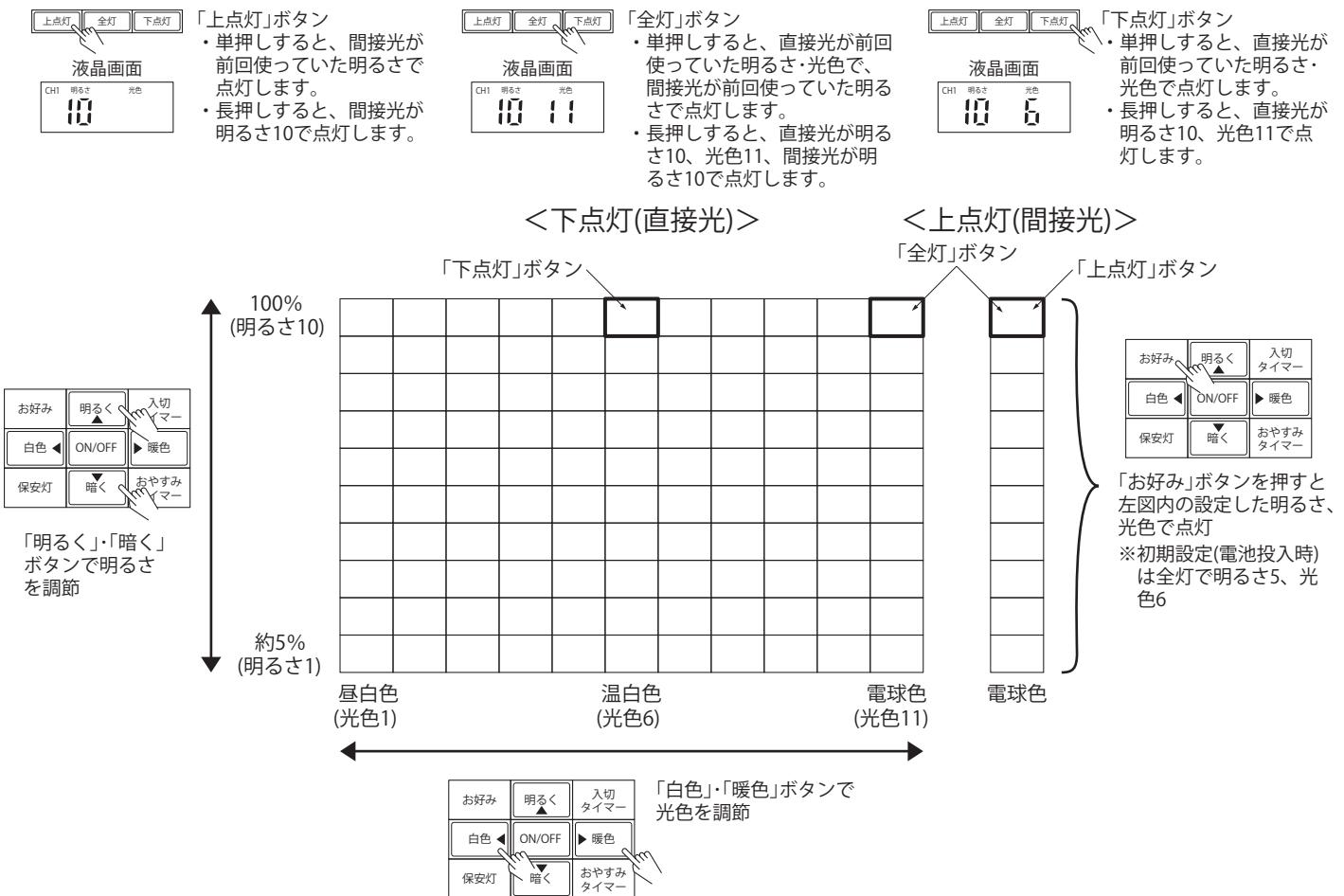
器具選択スイッチ



■ 明るさと光色の調整

●明るさは、全灯、下点灯、上点灯、保安灯すべて10段階で調整可能です。

光色は、全灯の下側と下点灯のみ11段階で調節可能です。



■ 「好み」ボタン設定方法

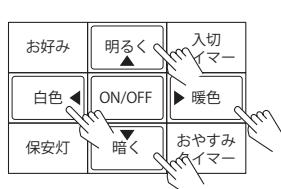
●よく使う明るさ、光色を「好み」ボタンに記憶させることができます。

例)下点灯、明るさ5、光色5に設定する。

①「下点灯」ボタンを押して下点灯モードにしてください。



②「明るく」・「暗く」・「白色」・「暖色」ボタンで、明るさ5、光色5に設定してください。



③「好み」ボタンを3秒以上長押しすると、液晶画面に「好み」表示が点灯し、「好み」ボタンに記憶されます。



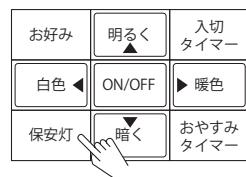
④いつでも「好み」ボタンを押すと、記憶した下点灯、明るさ5、光色5で点灯します。

■「保安灯」を調光させる

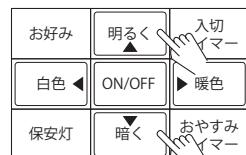
●保安灯は10段階の明るさ調節が可能です。

①「保安灯」ボタンを押すと、保安灯が点灯します。液晶画面に明るさの段数が表示されます。

※初期設定(電池投入時)は明るさ10



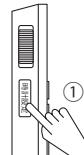
②「明るく」・「暗く」ボタンで明るさを調節してください。液晶画面の明るさの段数が変化します。



③再度「保安灯」ボタンを押すと、②で調節した明るさで点灯します。

■「時計設定」方法

①左側面の「時計設定」ボタンを長押ししてください。



○は点滅箇所を示します。

②「▲」「▼」ボタンを押してください。

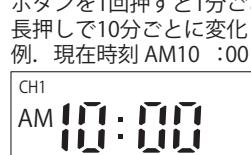


③選択したら「ON/OFF」ボタンを押してください。



④時刻を設定します。「▲」「▼」ボタンを押してください。

⑤設定したら「ON/OFF」ボタンを押してください。



⑥時刻の点滅が停止し、現在時刻が表示されます。

■「入切タイマー」時刻設定方法

●お好みの時間に照明器具を自動で点灯(お好み)、消灯させることができます。

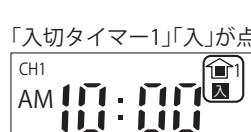
○は点滅箇所を示します。

また、2種類の設定を登録し、毎日同じ時間に動作させることができます。

また、入切タイマー1と入切タイマー2に設定を登録し、毎日同じ時間に照明を動作させることができます。

(1)入切タイマー設定モードにする

①「入切タイマー」ボタンを長押ししてください。



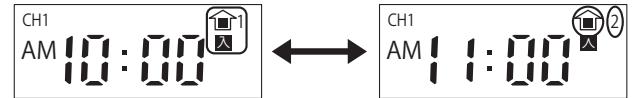
※タイマー時間の初期値はすべて「- : - -」になっています。

(2) 設定したいタイマーを選択する

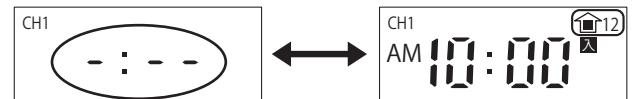
①「◀」「▶」ボタンを押し、設定したいタイマーを点滅表示させてください。



※「- : - -」…タイマーを設定しない時に選択します。



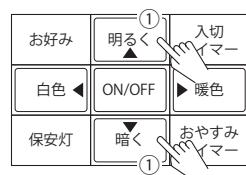
②点滅表示させた後、「ON/OFF」ボタンを押してください。



(3) 点灯・消灯時刻を設定する

(以下は例として「入切タイマー1」にAM10:00点灯、AM12:00消灯を設定します。)

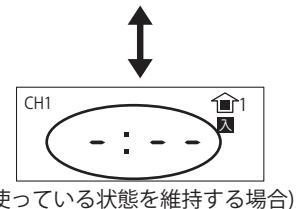
①「▲」「▼」ボタンを押し、AM/PM/使っている状態を維持のいずれかを選択してください。



「AM」「PM」「- : - -」を選択してください。



(AMに点灯を開始する場合) (PMに点灯を開始する場合)



(使っている状態を維持する場合)

②選択した後、「ON/OFF」ボタンを押してください。

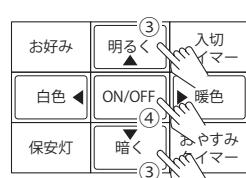


(時刻表示が点滅します。)使っている状態を維持する「- : - -」を選択した場合、⑤の消灯時刻の設定に移ります。



③「▲」「▼」ボタンを押し、点灯時刻を設定してください。

④点灯時刻を設定した後、「ON/OFF」ボタンを押してください。

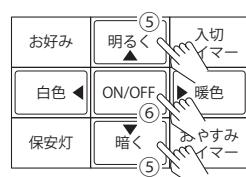


ボタンを1回押すと1分ごとに変化し、長押しで10分ごとに変化します。
例. AM10:00に点灯します。



⑤消灯時刻も同様に「▲」「▼」ボタンを押して設定してください。

⑥消灯時刻を設定したら「ON/OFF」ボタンを押してください。



例. AM12:00に消灯します。



※「入切タイマー1 2」を設定する場合は、(3)点灯・消灯時刻を設定するを2回繰り返してください。

これでタイマー設定は終了です。設定したタイマーが動き出します。

■「入切タイマー」セット・セット解除方法

●すでに時刻設定済みの「入切タイマー1」、「入切タイマー2」、「入切タイマー12」

のうちの1パターンをセットし、自動で点灯・消灯等をすることができます。

○は点滅箇所を示します。

(1)入切タイマー(「入切タイマー1」、「入切タイマー2」、「入切タイマー12」)のセット方法

①「入切タイマー」ボタンを長押ししてください。



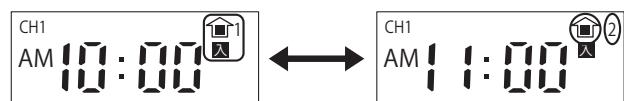
※例として「入切タイマー1」のタイマーをセットします。
「入切タイマー1」「入」が点滅します。



②「◀」「▶」ボタンを押し、設定したいタイマーを点滅表示させてください。



※「- : - -」…タイマーを設定しない時に選択します。

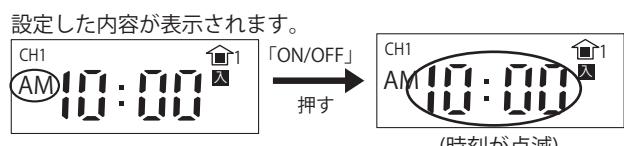


③点滅表示させた後、「ON/OFF」ボタンを押してください。



④設定した内容を確認しながら、「ON/OFF」ボタンを押してください。

(「ON/OFF」ボタンは2~4回押します。)



※「入切タイマー12」のセットは④を2回繰り返してください。

⑤入切タイマーのセット完了です。

(2)入切タイマーのセット解除方法

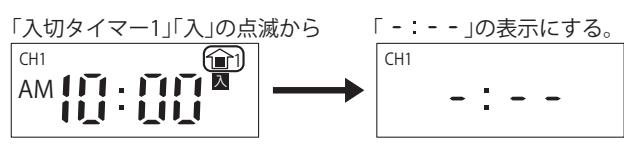
①「入切タイマー」ボタンを長押ししてください。



「入切タイマー1」「入」が点滅します。



②「◀」「▶」ボタンを押し、「- : - -」(タイマー設定しない)に切り替えてください。



③「ON/OFF」ボタンを押してください。

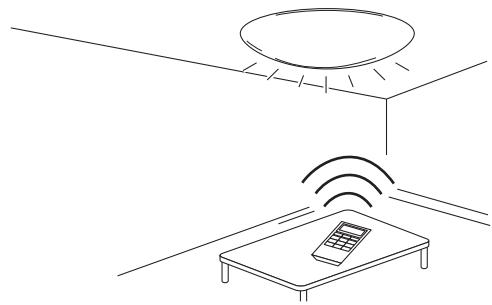


④入切タイマーのセット解除完了です。



(注意)

壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作ができません。
壁スイッチで点灯させてからリモコンを操作させてください。
タイマーはリモコンに記憶させるため、設定後は、ご使用になる位置で照明器具が動作することを確認してください。

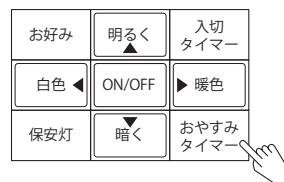


■「おやすみタイマー」動作方法

- 30分後または60分後に照明器具を自動で消灯することができます。
- おやすみタイマーをスタートさせる前に、リモコンをご使用になる位置で照明器具が動作することを確認してください。

(1)60分タイマー動作方法

おやすみタイマーが動作していない状態(液晶に「60分」「30分」の表示なし)で、「おやすみタイマー」ボタンを1回押してください。

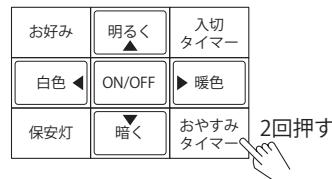


「60分」が表示され、60分タイマーがスタートします。

CH1 60分
AM 10:00 (おやすみ)

(2)30分タイマー動作方法

おやすみタイマーが動作していない状態(液晶に「60分」「30分」の表示なし)で、「おやすみタイマー」ボタンを2回押してください。



「30分」が表示され、30分タイマーがスタートします。

CH1 30分
AM 10:00 (おやすみ)

(3)おやすみタイマー解除方法

おやすみタイマーが動作している状態(液晶に「60分」または「30分」の表示あり)で、「おやすみタイマー」ボタンを1回押してください。

「60分」または「30分」が表示が消え、おやすみタイマーが解除されます。

CH1
AM 10:00

■ 故障かなと思ったら

- 故障とお考えの前に、下記の項目をチェックしてみてください。

現 象	考えられる原因	処 置 方 法
照明器具が暗い。	調光が暗く設定されている。	照明器具が点灯しているときは、「明るく」ボタンを押して、調光を明るく設定してください。
リモコンを操作しても点灯しない。	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	器具選択スイッチが照明器具のチャンネルと異なっている。	器具選択スイッチを照明器具のチャンネルに合わせてください。
照明器具が突然点灯する、または突然消灯する。	入切タイマーが設定されている。	「入切タイマー」ボタンを押して入切タイマーを解除してください。
点灯状態が勝手に切り替わる。	デモモード状態になっている。	器具本体(受信器)側チャンネルを「CH2」、リモコン(送信器)側チャンネルを「CH1」に設定してください。リモコンを器具に向けた状態で、「お好み」「保安灯」「入切タイマー」「おやすみタイマー」の4つのボタンを5秒以上同時に長押しすると、「ピー」と音が鳴り、デモモードが解除されます。

■ 使用上の注意

- ・他の器具を併用する場合は、器具間を1.5m以上離してご使用ください。照明器具本体の受信部に強い光が入りますとリモコン操作ができない場合があります。
- ・リモコンは、照明器具本体から3m以内の所からご使用ください。方向や、壁紙、カーテンにより感度が多少異なる場合があります。特に、窓ガラスのある部屋でご使用になる場合は、受信部が壁側を向くように取付けてください。
- ・壁スイッチがOFFの状態ではリモコンにより照明器具を点灯することができません。必ず壁スイッチをONの状態でご使用ください。
- ・リモコンにより照明器具を消灯状態にした場合、停電した後、照明器具が点灯することがあります。故障ではありません。
- ・停電した後、照明器具が、停電前の点灯状態と異なる点灯状態となる場合があります。故障ではありません。
- ・リモコンを落としたり、強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- ・リモコンに重いものをのせたり、踏んだりしないでください。故障の原因となります。
- ・リモコン内部や接点に、水など液体がこぼれないように注意してください。故障の原因となります。
- ・直射日光の当たるところや暖房器のそば等、温度の上がるところや湿度の高いところには置かないでください。故障の原因となります。
- ・ライトコントローラー(調光器)との併用はできません。
- ・器具と送信器の間に遮へい物がありますと、照明器具が動作しない場合がありますので、その際には遮へい物を避けて操作してください。
- ・送信部・受信部が汚れますと、動作しにくくなりますので、柔らかい布で拭いてください。
- ・器具の近くでインバータ器具を併用する場合、誤動作することがありますのでご注意ください。
- ・本取扱説明書の他に、取扱説明書が同梱されている場合は、そちらも必ずお読みください。
- ・長時間お使いにならない時は、必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。(リモコン送信器や補助スイッチで消灯した場合、マイコンを使用しているため、わずかな電流が流れて約1.0Wの電力を消費します。)